

未佑はテンネンジゴロ？

蜜瀬かえで 著

あたしの親友、笹川未佑はテンネンジゴロだ。

意味はよくわかんないけど、かおりがそう言ってたし、  
なんとなくあたしもそういう気がする。

この間二人でパンケーキ食べに行ったときも……

「玉置、鼻のトコ、クリームついてるよ」

「え？」

未佑に言われて思わず目を寄せたけど、見えるわけもなく。

ちなみに手はナイフとフォークでふさがっていた。

「もう。——ここ」

そういつて身を乗り出してきた未佑があたしの鼻の横  
のほうを指ですくって、

それをそのまま……

「はい」

あたしの口の前に差し出してきた。

反射的にあたしは、

「ぱく」

何も考えずに口にくわえちゃったんだけど。

次の瞬間には自分がどれだけ恥ずかしいことやってる  
かに気がついて、

「っ！　くくくく未佑！？」

「何？」

一気に顔が熱くなったあたしに対して、未佑は不思議そ  
うな顔で、

「どうかした？」

そう言って首を傾げたのだった。

あたしの親友、笹川未佑はテンネンジゴロだ。

意味はよくわかんないけど、かおりがそう言ってたし、  
なんとなくあたしもそういう気がする。

今回はただ、それだけのお話。